

サッカー 試合前のコイントス

サッカーの試合前に、審判がコインをなげあげ、
落ちてくるコインを受け止めて、「裏表」で
キックオフのボールと攻め方向をきめるのがコイントス。

プロであろうとアマであろうと、サッカーの競技規則に書いてありますから、
正式にやるなら、コイントスするしかない。
ルールブックには、コイントスで勝った方が前半に攻めるゴールを決めると書いてある。
そしてコイントスで負けた方がキックオフとなるのだ。

90分を戦って決着がつかず延長戦に入る場合、もう一度コイントスを行なう。
そして勝ったほうが延長前半に攻めるゴールを決める。

コイントスの時、英語では
「Heads or tails? 」と言っている。



日本のコインの場合
製造年が入っている面が裏。

日差し、風向き、ピッチ状態のほかにも、どうしても前半に先制したい事情があるときなどは、前半に自軍サポーターサイドに向かって攻めこむようにわざわざコートチェンジすること多いと思います。
普通は、後半自軍サポーターサイドに攻めた方が盛り上がりませうけどね。